

## 自己評価及び外部評価結果票

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200291		
法人名	有限会社 ハート		
事業所名	グループホーム 安庵		
所在地	佐賀県 唐津市 佐志 1156-26		
自己評価作成日	平成27年9月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年10月16日	外部評価確定日	平成27年12月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>唐津市・唐津湾・唐津城・日本三大松原と言われる虹ノ松原が一望できる高台に位置するグループホーム2ユニットです、入所様はもとより、訪問者の皆様にも「景色が良いですね、ほっとします！」と言った言葉を頂くことが多く、四季折々の移り代わりを楽しめる事もアピール一つです。</p> <p>当施設は開設から10年になり、入所者様も高齢となられ、一緒に何か作業をする・・・といった事が困難となっている現状はありますが、出来るだけ外気浴をして頂きたく、散歩、ドライブ、日光浴を行うよう努めております。</p> <p>施設内は、不快な臭いがないように換気、消毒には十分に気をつけています、職員も、理念に掲げているように、入所者様お一人お一人のペースを把握して自然な介護を提供できるよう日頃から努力しています。</p>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>唐津市の北部、唐津湾を見下ろす山あいにつづグループホームである。居室やリビングから見える景色が何よりも素晴らしく特徴的である。180度以上に広がる視界には唐津の海・海岸線・唐津城・街並みが広がり、夏の夜には唐津の大きな花火大会も見ることができる。ホーム開設から10年が過ぎた今春、敷地内に新しい小規模多機能事業所がオープンし、計3事業所の4棟となった。職員や利用者も多くなり、今後は3事業所合同での活動も検討されている。事業所の一部を活用して、利用者同士の交流や地域交流の拠点としたい考えもあり、楽しみである。近くに民家が少なく、開設当初は地域住民との接点も少なかったが、運営推進会議を介した地域への働きかけや地域行事への参加の積み重ねから、随分地域交流が進み地域の一住民としての関係が出来上がってきた感じがする。利用者の気持ちを大切に支援を心がけている職員の、明るく元気な笑い声が響いているホームである。</p>
--

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日常的に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。	日常的に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。	開設当時に職員皆で考えた理念を基本理念とし、利用者が何でも話せていつも笑顔で過ごせるような、利用者の気持ちを大切にしたい支援を心がけている。理念は居間や玄関・トイレなど目につきやすい所に掲げられ、理念の確認と実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加したり、お祭り行事の一つである獅子舞の施設訪問を受ける等の交流を図っている。 近隣の施設の夏祭りや花火大会などへも参らせて頂いている。	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加したり、お祭り行事の一つである獅子舞の施設訪問を受ける等の交流を図っている。 近隣の施設の夏祭りや花火大会などへも参らせて頂いている。	地域の行事や祭り・催しを大切に、積極的に参加している。事業所の夏祭りや催しに地域住民の参加を呼び掛けている。地域の大掃除には職員が参加し、地域住民との交流を心掛けている。区長や民生委員を通して地域の情報収集や地域への情報発信を心掛けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っています。	運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見を頂いた事についてはスタッフの全体会議で検討してその後の提供サービスに生かしている。	利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見を頂いた事についてはスタッフの全体会議で検討してその後の提供サービスに生かしている。	運営推進会議は、事業所と地域をつなぐ重要な会議と位置付けており、隣接する3事業所合同で開催されている。区長や利用者家族・民生委員・近隣住民などの一般委員が15名、理事長や管理者・主任などが8名の計23名の委員がいて、活発な意見交換がなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者より日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃より気になる事は、市町村担当窓口に出向いたり電話で意見を聞くようにしている、又、施設状況の報告と同時に空室が出れば市町村暗闘窓口パンフレットを持参して、相談をしている。	日頃より気になる事は、市町村担当窓口に出向いたり電話で意見を聞くようにしている、又、施設状況の報告と同時に空室が出れば市町村暗闘窓口パンフレットを持参して、相談をしている。	地域包括支援センター職員が運営推進会議の委員でもあることから、日頃から協力関係があり、連絡を取り合っている。問題点や分からない事があればすぐに相談ができ、助言を頂ける関係ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	『身体拘束排除宣言』内容を記載したものを掲示して身体拘束ゼロを目指して実践しています。	『身体拘束排除宣言』内容を記載したものを玄関に掲示して身体拘束ゼロを目指して実践しています。	契約時に、利用者と家族に事業所の方針を説明し、身体拘束をしない支援に取り組んでいる。職員は、身体拘束に関する指導を受け、言葉による拘束・精神的な拘束もないように気を付けて支援にあたっている。玄関や居室は施錠しておらず、利用者は自由に行動でき、職員は見守りながら支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行うようにしている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修に向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行うようにしている。	施設外研修に向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めております。	契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回行う、運営会議(理事長、各棟の管理者、主任)から、各棟で行う、全体会議で協議し、改善するように努め運営に反映させています。	月2回行う、運営会議(理事長、各棟の管理者、主任)から、各棟で行う、全体会議で協議し、改善するように努め運営に反映させています。	職員は、利用者が話しやすい環境づくりに努め、意見や要望の把握に努めている。重要事項説明書に、ホームの悩み・苦情相談窓口と外部機関の苦情相談窓口を明記し、契約時に詳しく説明している。玄関に投函箱もある。出された意見や要望は検討し、菜園づくりに取り組むなど運営に活かしている。意見要望を表せる手段としてアンケート実施を考慮中である。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の全体会議で話し合い、改善するように努め運営に反映させています。	職員の全体会議で話し合い、改善するように努め運営に反映させています。	管理者は、職員の日頃の様子や態度を見ながら随時個別相談に応じている。また、毎月会議を開き、職員から意見や提案を聞く機会を設けている。聞き出した意見や提案・要望は会議に諮り、運営に活かせるように検討がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に一回(3月頃)個人面談を行い、悩み、希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては、顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。	年に一回(4月頃)個人面談を行い、悩み、希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては、顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしています。	個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	唐津市内のグループホームの集まりで月一回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めている。	唐津市内のグループホームの集まりで月一回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の意向を聞きケアプランを作成して、説明するようにしている。(同意して頂いたらサインを頂くようにしている。)	本人様からの意向、要望を伺い、不安がないように、プラン作成を行う為にも、本人様に近いご家族様の意見も踏まえて安心して頂けるようにしています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の意向を伺いプランを作成して、説明するようにしている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようにしている。	家族様の意向を伺いプランを作成して、説明するようにしている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようにしている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して、説明するようにしている(同意して頂いたらサインを頂くようにしている)	本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して、説明するようにしている(同意して頂いたらサインを頂くようにしている)			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく共に過ごしあえるように努めています。	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく共に過ごしあえるように努めています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会が遠退いている利用者様へは寂しくないように、何とか月1回程度は外出する機会を設け日頃からコミュニケーションを多くとるようにしている。	ご家族様の面会が遠退いている利用者様へは寂しくないように、何とか月2回程度は外出する機会を設け日頃からコミュニケーションを多くとるようにしている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援している。馴染みの方の訪問時は、お茶、お菓子等お出ししてゆっくりして頂けるようにしています。	本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援している。馴染みの方の訪問時は、お茶、お菓子等お出ししてゆっくりして頂けるようにしています。	契約時に利用者の情報収集を行い、生活歴や家族構成を大切にした支援を心掛けている。利用者に心の不穏が生じた時、職員は本人のフェースシートを見直しながら利用者を理解するように努めている。自宅近くにドライブしたり墓参りに行くなど、利用者から要望があれば家族の了解を取った上で支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングにソファを置き利用者同士が話しやすいようにしている。	リビングにソファを置き利用者同士が話しやすいようにしている。			

自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は施設にも寄って頂ける様にしています。	入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は施設にも寄って頂ける様にしています。	/	/
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、できる限り本人本位でいられるようにしています。	入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、できる限り本人本位でいられるようにしています。	職員は、利用者の正面を向いてしっかり話すことを心がけ、意向や希望の把握に努めている。発語の少ない利用者には答えやすい話しかけをし、意思を引き出すように努めている。感じ取った意向や希望は職員間で共有し、日々の支援に活かしている。	/
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、又、家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしています。	日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、又、家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしています。	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々コミュニケーションをとり、フェースシートに落とし込んで把握するように努めている。	日々コミュニケーションをとり、フェースシートに落とし込んで把握するように努めている。	/	/
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き介護計画を作成しモニタリングを行っている。	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き介護計画を作成しモニタリングを行っている。	利用者や家族から要望を聞き、具体的な介護計画が立てられており、援助の方針や援助目標・援助内容が分かりやすく書かれている。毎日記入されるケアプラン実施表を基に毎月モニタリングを実施し、現状に即した介護計画が作成されている。	/
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテの経過記録と熱血票表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有して実践や介護計画に活用している。	カルテの経過記録と熱血票表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有して実践や介護計画に活用している。	/	/
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(ディサービス・ショートステイ・訪問介護サービス等)	ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(ディサービス・ショートステイ・訪問介護サービス等)	/	/

自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむ事が出来るようにしている。	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむ事が出来るようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望される医療機関をかかりつけ医とし、必要に応じて往診が受けられるようにして、定期受診は、家族が付き添うが、出来ない時は職員が対応している。	希望される医療機関をかかりつけ医とし、必要に応じて往診が受けられるようにして、定期受診は、家族が付き添うが、出来ない時は職員が対応している。	利用者や家族の意向を大切に、事業所の協力医への受診変更の他、入居前からのかかりつけ医の継続受診を支援している。通院は家族の送迎を基本としているが、職員対応もされている。家族送迎時や職員対応時、どちらも受診結果は適切に説明や報告がなされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内に看護師がいて日常の健康管理や適切な受診看護が受けられるようにしている。	ホーム内に看護師がいて日常の健康管理や適切な受診看護が受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師、看護師と情報交換を行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師、看護師と情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	時期が来たらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族に意向を確認し、対応方法を文書で説明、同意を得ている。	時期が来たらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族に意向を確認し、対応方法を文書で説明、同意を得ている。	「重度化した場合における対応にかかる指針」があり、契約時に本人及び家族に説明が行われ、同意を得ている。重度化するなど、利用者の状態に合わせて家族や主治医と話し合う体制ができており、家族と主治医・事業所は方針を共有している。これまで複数の看取り経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・11月)、消火、通報、避難誘導方法が身につくようにしている。	消防署の協力を得て定期的に訓練を行い(5月・12月)、消火、通報、避難誘導方法が身につくようにしている。	年2回、利用者も参加して消火・通報・避難訓練を実施し、記録は多くの写真と共に残している。また、原発事故に備えた対応も検討している。隣接法人内事業所と近所の法人外介護施設合同で大規模な消防訓練を実施し、災害時の協力体制を作っている。今後は、近隣住民や施設、消防団等との協力体制の確立を図る心構えである。	近隣住民や施設、消防団等との協力体制の確立など、現在検討中の事案が良い方向に解決していくことを期待したい。

自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から尊厳を持って接するように、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。	日頃から尊厳を持って接するように、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。	個人情報に関する説明書があり、個人情報を使用する目的や使用条件を明確にしている。契約時に本人や家族に説明し、同意を得ている。個人が特定できる写真は慎重に取り扱われ、基本的に外部に出さないように心がけている。今後、写真ではなく似顔絵にするなどを検討中である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。	本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内での全体に日課はあるが、その中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。	ホーム内での全体に日課はあるが、その中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容に関しては訪問理容を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。	理美容に関しては訪問理容を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る利用者様には食事の準備、後かたづけを手伝って頂くこともある。	メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る利用者様には食事の準備、後かたづけを手伝って頂くこともある。	献立は、手元にある食材や利用者の希望、調理当番の職員の考えで柔軟に決められている。契約時に嗜好調査を実施しており、利用者の好みに沿った献立にも気を配っている。誕生会やお正月・ひな祭り・節句などの行事食も準備され、利用者の食の楽しみにつながっている。利用者と職員は、同じテーブルで楽しい会話をしながら同じ食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は、朝、昼、夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し支持を仰ぐ。健康のパロメーターとして早期に異常の発見に努め一人一人に応じた支援を行っている。	食事摂取量は、朝、昼、夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し支持を仰ぐ。健康のパロメーターとして早期に異常の発見に努め一人一人に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)	毎食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)		

自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	頻回な見守りをして、併設パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。	トイレにチェック表を置き、排泄時間前記入する。(排泄間隔が長い方のみ)。一般的には、併設パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。	車イス利用者が多く、排泄が自立できている利用者は少ない。オムツの使用にかかる負担を少しでも減らせるように努めており、日中だけでもトイレで排泄できるように誘導・支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する、10時、15時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。	旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する、10時、16時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一応曜日は決まっているが、作業後お風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいと言う要望があれば納得されるまで時間をかけている、又、入浴を拒否される方へは、時間を置き何度も声かけを行うようにしている。	一応曜日は決まっているが、作業後お風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいと言う要望があれば納得されるまで時間をかけている、又、入浴を拒否される方へは、時間を置き何度も声かけを行うようにしている。	入浴は個浴で週3回が基本であるが、毎日でも希望があればできる限り支援するように心がけている。湯船にゆっくりつかることを基本としており、リフトも設置されている。入浴しない日でも下着は交換しており、清潔に保つよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄器、加湿器、除湿器、を使用したり、疲れて足に浮腫がある方は足先を高くしたりして、リビング、居室で休息取って気持ちよく眠れるように支援している。	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄器、加湿器、除湿器、を使用したり、疲れて足に浮腫がある方は足先を高くしたりして、リビング、居室で休息取って気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬効、副作用が理解出来るように、一人一人の最新情報の薬の効能飼い書きを個人のカルテに閉じて情報を共有している。	薬効、副作用が理解出来るように、一人一人の最新情報の薬の効能飼い書きを個人のカルテに閉じて情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴を聞き、希望に沿った楽しみ、役割の支援をしている。(煙草、晩酌にビールを提供)	入居時に生活歴を聞き、希望に沿った楽しみ、役割の支援をしている。(晩酌に酒を出す、個々の好きな音楽を聴いて頂く等)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩・ドライブ等、希望に沿った外出支援に努めている。	買い物や散歩・ドライブ等、希望に沿った外出支援に努めている。	管理者は、外気浴など少しでも外の空気を吸って気分転換することが大切だと考えており、外に出る支援を心がけている。近隣散歩の他、花見ドライブ・買い物などの外出支援も行われている。玄関横に椅子が置いてあり、気候の良い時は皆でお茶を楽しんだり日向ぼっこを楽しむなど、建物の中に閉じこもらない支援もなされている。	



自己	外部	項目	己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したいとの要望があれば、3000円程度は持てるようにして、買い物などを希望された場合は、施設の方で立て替えるようにしている。	お金を所持したいとの要望があれば、3001円程度は持てるようにして、買い物などを希望された場合は、施設の方で立て替えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な方への電話や手紙は、本人様が希望される時に、即、対応している。	家族や大切な方に電話が出来るように支援している、又、季節ごとに希望があれば年賀状、暑中見舞いのはがきを書いたりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日頃より換気をしたり快適な温度で入れるようにエアコンを入れたりしている。又、玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるように努めている。	日頃より換気をしたり快適な温度で入れるようにエアコンを入れたりしている。又、玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるように努めている。	ホーム内はふんだんに木材が使用され、広く明るく落ち着いた雰囲気となっている。毎朝、必ず窓を全開して換気することを心がけ、空気清浄機や加湿器を活用して心地よく過ごせるように支援している。花や手芸作品などで季節感を感じる雰囲気づくりがなされている。また、居間から見える唐津湾の壮大な景色は眺めているだけで心が落ち着く。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには自由に過ごせるソファを置き談話したり、テレビを観たり、思い思いに過ごして頂けるようにしている。	リビングには自由に過ごせるソファを置き談話したり、テレビを観たり、思い思いに過ごして頂けるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇、タンス、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ちこみ、又、居室に生花を飾ったり、居心地の良い空間づくりを行っている。	仏壇、タンス、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ちこみ、又、居室に生花を飾ったり、居心地の良い空間づくりを行っている。	入居契約時に、自宅で使い慣れたなじみの品などの持ち込みを勧めている。ソファやタンスなどの家具類、テレビ・写真・人形・手芸品・時計やカレンダーなどが持参され、居心地よく過ごせるその人らしい居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーにして、トイレ、廊下、風呂場等手摺をつけたり、ナースコールつけたりして出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。日付け、曜日が分かりやすいように大きい手作りカレンダーを使用している。	バリアフリーにして、トイレ、廊下、風呂場等手摺をつけたり、ナースコールつけたりして出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。日付け、曜日が分かりやすいように大きい手作りカレンダーを使用している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)		○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と	
				2. 家族の2/3くらいと	
				3. 家族の1/3くらいと	
				4. ほとんどできていない	
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように	
				2. 数日に1回程度ある	
				3. たまに	
				4. ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている	
				2. 少しずつ増えている	
				3. あまり増えていない	
				4. 全くいない	
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が	
				2. 職員の2/3くらいが	
				3. 職員の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が	
				2. 家族等の2/3くらいが	
				3. 家族等の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	